



平成 30 年度 中間決算について

平成 30 年 12 月 25 日
本州四国連絡高速道路株式会社

平成 30 年度（第 14 期）中間決算についてお知らせします。

I 決算概要

1. 平成 30 年度 事業概要
 - ① 高速道路事業
 - ② 関連事業
2. 平成 30 年度 経営状況
連結決算の概要
(参考) 個別決算の概要

II 決算資料

1. 連結決算
 - ① 中間連結貸借対照表
 - ② 中間連結損益計算書
 - ③ 中間連結株主資本等変動計算書
 - ④ 連結注記表
2. 個別決算
 - ① 中間貸借対照表
 - ② 中間損益計算書
 - ③ 中間株主資本等変動計算書
 - ④ 個別注記表

※当社の中間決算は、金融商品取引法に基づいて作成したものではなく、情報開示等の目的で任意に作成したものです。

I 決算概要

1. 平成 30 年度 事業概要

① 高速道路事業

お客様に【安全】【安心】【快適】に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

・当中間期の通行台数は、平成 30 年 7 月豪雨等の影響により、前年同期比 0.7%減の 2,212 万台となり、料金収入は前年同期比 0.9%減の 334 億円となりました。

・独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への道路資産賃借料の支払額は 227 億円となりました。

・より安全・安心・快適にご利用いただくため、道路巡回、路面清掃、適切な情報提供などの管理に努めるとともに、アセットマネジメントの考え方により、舗装補修、長大橋塗替塗装、耐震補強などの構造物修繕工事を計画的かつ効率的に実施しています。



舗装補修（西瀬戸自動車道）



長大橋塗替塗装（瀬戸大橋）



耐震補強（瀬戸中央自動車道）

② 関連事業

・「瀬戸内の海と島と橋が生み出す『非日常空間』」をコンセプトに、S A・P Aのリニューアル及びサービスの改善等を実施しています。また、各種イベントを積極的に実施し、お客様サービスの向上に取り組んでいます。

➤ 神戸淡路鳴門自動車道全通 20 周年、瀬戸大橋開通 30 周年記念セール等のイベントを実施

➤ 来島海峡 S A の休憩施設をリニューアル工事中

・長大橋の建設・管理技術を活用して、J I C A（（独）国際協力機構）、地方公共団体から長大橋技術支援業務等を受託しました。

・地方公共団体から高速道路上における跨道橋点検業務等を受託しました。



瀬戸大橋開通 30 周年記念セール（与島 P A）



長大橋技術支援（愛媛県受託/岩城橋）

2. 平成30年度 経営状況

連結決算の概要

(単位：億円)

項目		平成30年度 中間決算	平成29年度 中間決算	増減		平成30年度 通期見込み ※1	平成29年度 決算
				増(△)減	対前年 増減率		
営業収益	高速道路事業	346	343	3	0.9%	756	749
	料金収入	334	337	△ 3	△ 0.9%	653	651
	道路資産完成高	11	4	6	141.0%	101	94
	その他の売上高	0.8	1	△ 0.2	△ 24.7%	2	2
	関連事業	14	14	0.2	1.5%	59	41
	休憩所等事業	9	9	△ 0.0	△ 0.9%	17	17
	受託事業等	5	5	0.3	6.0%	42	24
		361	357	3	1.0%	815	791
営業費用	高速道路事業	326	323	3	1.1%	758	747
	道路資産賃借料	227	234	△ 6	△ 2.7%	462	462
	道路資産完成原価	11	4	6	141.0%	101	94
	管理費用	87	84	3	3.9%	195	190
	関連事業	11	11	0.6	5.4%	54	35
	休憩所等事業	6	6	0.9	15.9%	14	12
	受託事業等	4	5	△ 0.3	△ 6.6%	40	22
		338	334	4	1.3%	812	783
営業利益	高速道路事業	19	20	△ 0.3	△ 1.6%	△ 2	1
	関連事業	3	3	△ 0.3	△ 10.9%	5	6
		22	23	△ 0.7	△ 3.0%	3	7
経常利益		24	24	△ 0.7	△ 3.1%	6	10
中間(当期)純利益		15	※2 51	△ 35	△ 68.8%	3	※2 42

※1. 平成30年度通期見込みについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

※2. 平成29年度中間(当期)純利益には、厚生年金基金代行返上に係る特別利益等約35億円が含まれております。

(参考) 個別決算の概要

(単位：億円)

項目		平成30年度 中間決算	平成29年度 中間決算	増減		平成30年度 通期見込み ※1	平成29年度 決算
				増(△)減	対前年 増減率		
営業収益	高速道路事業	346	343	3	1.0%	756	748
	料金収入	334	337	△ 3	△ 0.9%	653	651
	道路資産完成高	11	4	6	141.0%	101	94
	その他の売上高	0.7	0.8	△ 0.1	△ 15.3%	2	2
	関連事業	6	6	△ 0.1	△ 2.2%	45	24
	休憩所等事業	2	2	0.0	1.6%	4	4
	受託事業等	3	4	△ 0.1	△ 4.3%	41	20
		352	349	3	0.9%	801	773
営業費用	高速道路事業	322	319	2	0.7%	758	749
	道路資産賃借料	227	234	△ 6	△ 2.7%	462	462
	道路資産完成原価	11	4	6	141.0%	101	94
	管理費用	82	80	1	2.4%	195	192
	関連事業	6	6	0.3	4.9%	45	24
	休憩所等事業	2	1	0.3	20.2%	4	3
	受託事業等	4	4	△ 0.0	△ 1.4%	41	20
		328	325	2	0.8%	803	773
営業利益	高速道路事業	24	23	1	4.8%	△ 2	△ 0.8
	関連事業	△ 0.1	0.2	△ 0.4	△ 169.5%	0.4	0.4
	(△は損失)	24	23	0.6	2.9%	△ 2	△ 0.4
経常利益		26	25	0.5	1.9%	1	2
中間(当期)純利益		17	※2 52	△ 34	△ 65.9%	1	※2 37

※1. 平成30年度通期見込みについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

※2. 平成29年度中間(当期)純利益には、厚生年金基金代行返上に係る特別利益等約35億円が含まれております。

II 決算資料

1. 連結決算

- ① 中間連結貸借対照表
- ② 中間連結損益計算書
- ③ 中間連結株主資本等変動計算書
- ④ 連結注記表

2. 個別決算

- ① 中間貸借対照表
- ② 中間損益計算書
- ③ 中間株主資本等変動計算書
- ④ 個別注記表